

a を実数とし、関数 $f(x) = ax^2 + e^{-x^2}$ について考える。
 必要ならば、 $\lim_{t \rightarrow \infty} te^{-t} = 0$ を用いてよい。

- (1) $a = 0$ のとき、 $f(x)$ は $x = \pm$ で変曲点をもつ。
 (2) $a = 0$ のとき、 $f''(x)$ は $x =$ で最小値 をとり、 $x =$ で最大値 をとる。
 (3) $0 < a <$ のとき、 $f(x)$ は異なる 2 つの $x = \pm$ で最小値 をとる。
 (4) $f(x)$ は $< a < 0$ のとき変曲点を 個もち、 $0 \leq a <$ のとき変曲点を 個もち、それ以外のときは変曲点をもたない。

(15 立命館大 理系 2 月 3 日 1)

【答】

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ
$\frac{1}{\sqrt{2}}$	0	-2	$\pm\sqrt{\frac{3}{2}}$	$4e^{-\frac{3}{2}}$	1	$\sqrt{-\log a}$	$a(1 - \log a)$	$-2e^{-\frac{3}{2}}$	4	1

シ
2

【解答】

$$f(x) = ax^2 + e^{-x^2}$$

- (1) $a = 0$ のとき

$$f(x) = e^{-x^2}$$

$$f'(x) = e^{-x^2} \cdot (-2x) = -2xe^{-x^2}$$

$$f''(x) = -2 \cdot e^{-x^2} + (-2x) \cdot (-2xe^{-x^2}) = (4x^2 - 2)e^{-x^2}$$

$x = \pm \frac{1}{\sqrt{2}}$ の前後で $f''(x)$ の符号が変化するため、 $f(x)$ は

$$x = \pm \frac{1}{\sqrt{2}} \text{ で変曲点をもつ。} \quad \dots\dots(\text{答})$$

- (2) $a = 0$ のとき

$f''(x)$ は偶関数であり、 y 軸に関して対称なので、 $x \geq 0$ での増減を調べる。

$$f'''(x) = 8x \cdot e^{-x^2} + (4x^2 - 2) \cdot (-2xe^{-x^2})$$

$$= (-8x^3 + 12x)e^{-x^2}$$

$$= -4x(2x^2 - 3)e^{-x^2}$$

$x \geq 0$ における $f''(x)$ の増減は右表となる。

$$f''(0) = -2$$

$$f''\left(\sqrt{\frac{3}{2}}\right) = \left(4 \cdot \frac{3}{2} - 2\right)e^{-\frac{3}{2}} = 4e^{-\frac{3}{2}}$$

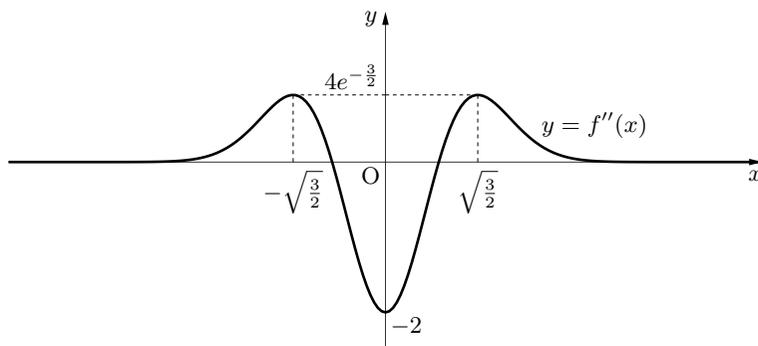
$$\lim_{x \rightarrow \infty} f''(x) = \lim_{x \rightarrow \infty} (4x^2 e^{-x^2} - 2e^{-x^2})$$

$$= 4 \cdot 0 - 0 \quad (\because \lim_{t \rightarrow \infty} te^{-t} = 0)$$

$$= 0$$

x	0	...	$\sqrt{\frac{3}{2}}$...
$f'''(x)$		+	0	-
$f''(x)$		↗		↘

$y = f''(x)$ のグラフは下図となる.



よって, $y = f''(x)$ は

$$x = 0 \text{ で 最小値 } -2, \quad \dots\dots(\text{答})$$

$$x = \pm\sqrt{\frac{3}{2}} \text{ で 最大値 } 4e^{-\frac{3}{2}} \quad \dots\dots(\text{答})$$

をとる.

(3) $f(x) = ax^2 + e^{-x^2}$ は偶関数であり, y 軸に関して対称なので, $x \geq 0$ での増減を調べる.

$$f'(x) = 2ax - 2xe^{-x^2} = 2x(a - e^{-x^2}) \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

$a \geq 1$ のとき, $x \geq 0$ においては $a - e^{-x^2} \geq 0$ であるから $f(x)$ は単調増加であり, 実数全体において $f(x)$ が異なる 2 つの x で最小値をとることはない.

$0 < a < 1$ のとき, $x \geq 0$ での $f(x)$ の増減は右表となり, 実数全体において $f(x)$ は 2 つの x で最小値をとる.

x	0	\dots	$\sqrt{-\log a}$	\dots
$f'(x)$		-	0	+
$f(x)$		\searrow		\nearrow

よって, 求める a の値の範囲は

$$0 < a < 1 \quad \dots\dots(\text{答})$$

であり

$$x = \pm\sqrt{-\log a} \quad \dots\dots(\text{答})$$

で

$$\text{最小値 } f(\sqrt{-\log a}) = a(-\log a) + e^{-(-\log a)} = a(1 - \log a) \quad \dots\dots(\text{答})$$

をとる.

(4) ① をさらに微分して

$$\begin{aligned} f''(x) &= 2(a - e^{-x^2}) + 2x \cdot 2xe^{-x^2} \\ &= (4x^2 - 2)e^{-x^2} + 2a \end{aligned}$$

(2) の $y = (4x^2 - 2)e^{-x^2}$ のグラフと直線 $y = -2a$ の共有点を調べると

$0 < -2a < 4e^{-\frac{3}{2}}$ のとき, すなわち

$$-2e^{-\frac{3}{2}} < a < 0 \text{ のとき 変曲点を } 4 \text{ 個もち,} \quad \dots\dots(\text{答})$$

$-2 < -2a \leq 0$ のとき, すなわち

$$0 \leq a < 1 \text{ のとき 変曲点を } 2 \text{ 個もち,} \quad \dots\dots(\text{答})$$

それ以外のときは変曲点をもたない.